

第 18 回千早赤阪村庁舎建設検討委員会会議録（要旨）

日 時	令和元年 9 月 4 日(水) 午前 10 時～午前 11 時 15 分
場 所	<u>保健センター3 階 集団指導室</u>
出席者	磯崎委員長、仲野副委員長、城戸委員、久保委員、柴田委員、関口委員、豊田委員、西野委員、服部委員、伏井委員、矢倉委員、柳川委員、山形委員
欠席者	楠本委員、阪辻委員
事務局	松本村長、清水副村長 総務課：日谷課長 人事財政課：中野課長 地域戦略室：赤阪室長、藤戸参事、木ノ本主査、下野主査、瓦谷主査 ※基本設計担当 榊徳岡設計（3 名）
傍聴者	1 名
会議概要	開会 1. 議事 （1）最終レイアウトプランについて （2）新庁舎建設費について 閉会

【議事要旨】

1. 議事

- ※事務局より（1）最終レイアウトプランについて
（2）新庁舎建設費について

についての説明を行い、委員から次の通り意見等がありました。

（城戸委員）

2 階の副村長の執務室が打合せ室も何もないように変更されている。副村長が希望されたと聞いたがそれでいいのか。

（副村長）

書庫が全然足りない、きちんと書庫を作る代わりに行政文書の管理をきちんとして欲しいという僕のメッセージです。

（城戸委員）

いわゆる従来の助役なんだから、廊下に面したところに入口を作るべき。湯沸室は後ろにもってあげばいい。

（仲野委員）

副村長については、一番前面に村民との接点になって頂くのに、それなりの部屋は必要で

わないか。

(西野委員)

私も前回の図面の方が良いと思う。

(仲野委員)

極端な言い方をしたら、議員控室を廃止してもいい、議長室でも十分勉強できるのでは
(城戸委員)

実際運営していったら、特別職として一番出入りの激しいところだからトラブルになる。
過去の資料を見るのに書庫は便利な場所の方が良いが、2階に持って行ったら3階の人
も1階の人も2階に来ないといけない。庁舎内ならどこに持って行っても一緒だ。

(磯崎委員長)

行政上どうしても書庫はここでないといけないのか。

(藤戸参事)

こちらの書庫に入れる物の想定としては、頻繁には使わないけど必要な物になるが、配置
は絶対こちらでないといけないわけではない。

(磯崎委員長)

どうしても書庫は庁舎内にあった方が利便性が良いが、副村長室は別の話で、平面的なレ
イアウトは間仕切りとかであとでも出来るので、副村長の気持ちはよくわかるので、副村長
室を何とか作って欲しい。

(磯崎委員長)

それでは、その次は建築費の概算ですが、非常に苦労して大分何とか本当に当初よりもア
レンジしてもらったと思うが、それ以外にまだ不確定予算が結構多いと思うのですよ。

例えば、防災機器とか通信機、新しくそういうのを上につけないといけないと言う話も出
てきましたので、これについて意見を

(豊田委員)

この金額は税込ですか？

(藤戸参事)

税込金額です。

(服部委員)

今、庁舎の入口のところに郵便ポストがあるでしょう。あれはどうするのですか、廃止で
すか。

(藤戸参事)

いいえ、郵便ポストも配置図で移設という形で、北側の玄関の西寄りに公衆電話の並びに
移設予定です。

(柳川委員)

非常用の自家発電設備は何時間持つのか

(下野主査)

7 2 時間

(柳川委員)

太陽光発電が世間でも色々議論になっているが、単に費用対効果というのではなく、やはり完全なブラックアウトみたいなことはありえないと思うが庁舎として、停電になっても自家発電だけに頼ることなく必要最低限、機能が合ったほうが、村民が安心するのでは

(磯崎委員長)

今、専門家からの質問が出たのですが、自家発電は、今2台あるのですね。

(久保委員)

外構にも街灯とか色々な照明機器が有ると思うが外で使う色々な機器はソーラー電灯とかの省エネ機器を積極的に使うべき。

予算をざっくり見ると998百万円となっているが、かなり厳しいコストだ。

通常よく公共の仕事をやっている予算からするとちょっと少ない感じがする。

入札でうまく運ばばいいが、昨今は建設コストが上がってるので、不調が多く、一旦不調になると再入札に時間がかかるし、追加予算にならなければよいがちょっと不安。

(藤戸参事)

概算に関しては、見積りの取れるものは取ってるが、物価の上昇率もある程度考慮してコストカットしてやっとここまでたどりついた。

什器や設備は、まだこれから詰めていくので、物価の上昇があってもおさえられるように考えています。

(久保委員)

これはかなり抑えている、かなり努力されてされてギリギリのところまで削っている。

(副村長)

平米価いくらくらい。

(徳岡設計)

平米約40万円まで絞っています。

(久保委員)

平米単価約40万円という安い金額で庁舎建築をやっていくと言うことはあまり無い。

かなりご苦労されてかなり絞って、スリム化して事にあたっている、予算的には。

(副村長)

確かに久保委員がおっしゃるように、オリンピックと万博とか色々なことで、ものすごく建設単価が上がっています。認定こども園、これは民間がそこでやっていますけれども、これも一回入札不調になっているということで、想定している額よりも相当高止まりしている。やはり人口が減って、過疎にもなっているということでできるだけコンパクトで安い庁舎でということで10億以内でやるということが僕は住民との約束だというふうに思っています。ですから極力要らないスペースを削って、もともとくすのきホールで建替えると言っていたときはこれの倍近くあった、だけどそれはみんながちょっとずつ辛抱してもらおうと

いうことでここまで絞りこんできた。収まるように、例えば建設単価で上がれば別のところで、で抑えるとか、どうしても駄目だということになれば、面積をさらに絞り込むとか、やっぱり 10 億の中で収めるようにしていかないと、上がった分を単純に積むということは考えていない。

(柴田委員)

今そこに出されているあの資料は、この配布されている資料の中に入れてなかった理由か何かあるのですか？

(赤阪室長)

予算的な部分もございまして、まだこれから工事発注とかしていく中で、不確定な部分が増えるので、お金だけが一人歩きするということがないように、資料の中には入れていない。

(柴田委員)

変更点のレイアウトとかにしても前の資料を私たちが持ってこればいいのですが、ここからこう変わったというのがわからない、やはり変更があるときは、前のところからこう変わったと説明してもらった方がいい。費用に関しても、前の物を付けて欲しい。

(磯崎委員長)

ちょっと待ってください。費用については、今回最終レイアウトになって初めて金額が出た。あくまでも金額は今回最終レイアウトになったので、大体の金額を出した訳です。

(藤戸参事)

前回の図面が無くて比べようがないというのは勿論あるとは思いますが、それはご意見として頂いて次回につなげていきたいと思えます。

(磯崎委員長)

金額、今回初めてで最終レイアウトで、できるのかの算出になっている。防災費とか通信費とかの話は今まで無かったです。什器・備品の 7,500 万という金額。こんなのは今回初めて出ている訳です。今後発注になってくるので、この金額については、これだけの予算があると金額が一人歩きしてしまうので、このへんにつきましては、役所に任せておいて、一切この検討委員会では出さないような形でお願いします。業者は、この金額があったら、極端にいったらこの 2 割増しでいこうとか、そういうのは世間一般の常識ですから。(笑) ですから予算につきましては、絶対異論の無いように委員会の方はお願いします。

(柴田委員)

これは一般公開されないのですよね？

(磯崎委員長)

金額は一般公開しません。

(柴田委員)

全体は

(磯崎委員長)

ですから発注になって、その業者と契約してこれになりますよ、と相手がある話ですから。特注で出すのだったら別ですが、やり方はいろいろあるのです。特注でその業者と契約する場合もありますので。ただ什器備品とかは会社自体が少ないので、建設会社はいっぱいありますが。椅子でもなんでも扱っている大きいところは、有る程度限られている。ですからそのへんだけは異論の無いようにお願いしたいと思います。

(久保委員)

確かに検討委員会様々で予算様々だと思うのですが、全くそれに触れないというのはいかがなものかという感じもするのですが。予算とか金額にかかることは、今おっしゃられたように非常にデリケートなものですから、よくあるのが回収資料ですよ。

(磯崎委員長)

そうです。

(副村長)

そうです、確かに見難い。目が悪いと見えない。だから久保委員からお話があったので、資料を配らせてもらって最後回収するというので配って下さい。

(久保委員)

見ると、見たことの責任がかかってきますので。

(城戸委員)

概算だったら、構わないけど。

(伏井委員)

公用車はどこに配置するか。

例えば公用車に車庫が必要か、車庫があれば太陽光パネルつけたらいいとか、それから非常時に公用車が役場の近くに無いと大丈夫かとか、燃料の備蓄はあるかとか、そういうことが少し気になったのです。

(赤阪室長)

公用車につきましては、現在役場の上の駐車場に配置します。

残りは、石屋さんの右手の三角地を利用したいと考えております。

(柴田委員)

風除け室っていうのは、誰も入らない？

(藤戸参事)

中が冷房室で外が暑いときとか、扉一枚だけだと、すごく熱風が入ってくるので、そういう温度の変化を少なくするために扉が二つ付けて中間緩衝地帯のような意味合いの機能。他施設でも風除け室という施設があるかと思います。

(柴田委員)

それは出入りはする感じ？

(下野主査)

そこが玄関になりますので。

(赤阪室長)

保健センターの下の1階の入り口のイメージ。

(柴田委員)

ああ、玄関なんですね。わかりました。ありがとうございます。

何か緑系のものを室内に入れるのですか、細かいことですが。

(藤戸参事) そこまではまだ細かく検討はしていない。

(柳川委員) 備品供給のところで、※0.8というのは8掛けという意味ですか？

(藤戸参事) はい、今、8掛けの想定で。

(柳川委員) まあ通常は予算の8掛けくらいでみるのですが、現実的には予算6掛け以下ですか。

(磯崎委員長)

6掛けでも高いと思う。

(柳川委員)

予算としてはこれをみておかないといけないから(笑)

(磯崎委員長)

什器・備品やサッシなんかもそうですわ。50%でも皆さん安いと思うけどね、そんな値段と違うんです。はっきりいってね、そういう業界です。だから什器・備品なんか椅子でもそうです。これ2万円します、1万円だったら安いと思って買った何のことはない実際6,000円で売っている。まあそんな感じです。

(仲野委員)

メーカーと二流品だとえらい値段変わりますでしょ？

(磯崎委員長)

ですから先ほどから言いますようにメーカーが4社か5社くらいでね、下がるものも下がらなくなる。ですからそのへんが非常に大事な話になってきますので。村長、ひとつよろしくお願いします。

(柳川委員)

この備品とかに関しても、建物の値段に関係あるのでね。設計者の意見もよく聞いて、ただ使い勝手は徹底的に注文つけてやらないとということです。

(磯崎委員長)

特注品でなくて普通の一般的なもので設計して、特注品だったら、高いものになってきますので。

さあ、それではよろしいでしょうか？他に意見がないようなので…。

(豊田委員)

すみません、ちょっと。概算の資料を拝見しているのですが、その中に、文化財の発掘調査、それから本調査ですね。これが二つあって金額的には相当大きいのですが、このへんの部分の助成というか国からのそういうものがあるのかないのか、あまりにも金額が大きい

の。

(藤戸参事) そうですね、色々探っている中で無い状況ですので、このままの金額です。

(磯崎委員長) 建築工事と外構工事は分割発注か？

(下野主査) 一応、今、考えていますのは、一体発注の予定です。

(久保委員) 一体発注の方がいいでしょう。普通は一体発注。

(磯崎委員長)

建築工事と土木工事とは分野が違うのですよね、外構関係の工事はね。

例えば植栽とかそういうのにつきましてもね。だから、極端な話を言うと、外注に出して経費をのせて。完全に一度消えますので、そのあたりも予算的に検討して頂いて、どちらが有利なのか。極端な話、外構工事くらいは地元の業者をお願いしたいと、金額的に言うと。おそらくこの建築工事を地元業者がするのはしんどいと思う。ま、そういうことで、他に意見ございませんでしょうか？

他に意見が無いようですので、次回開催の予定につきまして事務局からご説明お願い致します。

(赤阪室長)

次回の開催日程につきましては、現在未定でございます。今後委員長と協議させて頂いて決めたいと思いますのでよろしくお願い致します。

(磯崎委員長)

それでは最終的になんでもよろしいので意見ございませんでしょうか？

意見もないようですので、本日の第18回庁舎建設検討委員会はこれもちまして終了とさせていただきます。

なお本日の議事内容につきましては、まだ案の部分もございますので、取り扱いには十分注意してください。慎重にお願いします。本日は誠にありがとうございました。事務局よろしくおねがいします。

(赤阪室長)

ありがとうございました。これもちまして本日の会議を終了いたしたいと思います。皆様、おつかれさまでした。

予算の資料につきましては回収させていただきますので机の上に置いてください。